

マイウェイ

No.48
2002

かながわ梅物語
監修 木崎信男 写真 松尾順造

財団法人はまさん産業文化振興財団

平成14年12月発行 ● 発行人 平澤貞昭 ● 編集人 清水昭雄 ● 発行 財団法人はまさん産業文化振興財団 〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1 ☎045-225-2171 (直通) ㈱西北社 大日本印刷㈱



かながわ梅物語

関東の春をいち早く告げる神奈川の梅、
その優雅で清楚な姿と馥郁たる香り放つ梅花の
名所・名木を集めました。



石川の梅 藤沢市石川

樹高8.5m、胸高周囲2.3m、樹齢約300年と
推定される白梅の古木。大きく伸びた枝に満
開の花がつく姿は華麗で壮大。藤沢市の天然
記念物に指定。

表紙・裏表紙／曾我梅林

梅林の生い立ちを知る楽しさ。 木崎信男

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」という諺があります。桜は枝を切ると枯れ込みやすく、せんだし難い木なのに対し、梅はせんだしによく耐え、何処でも切れることを言っています。

しかし、それだけではなく、桜はせんだしなくとも自然によい姿になってよく花を付けますが、梅は放置すると枝が込みすぎ、実が付かなくなりやす。よい実をたくさん付けさせるためには、せんだし作業は欠かせない木であることを言っているのでしょう。

梅のせんだしには、実をとることを目的としません定、庭木として花を楽しむためのせんだし



梅は桜とちがいが、近くで
觀賞し、愛でる花木。

定があり、せんだし方法がまったく違います。品種についても同じことが言えます。

梅林もその生い立ちを色濃く残っていて、実梅を主眼に栽培し、花時になると観光客に見せているところ、初めから鑑賞を目的に開設されたところ、また、その両方をねらった兼用型などさまざまです。その違いを知り、梅の特徴が分かれば、梅見もいっそう楽しくなるのではないのでしょうか。

きさき・のぶお ● 1957年生まれ。少年時代から花づくりに
を始め、大学卒業後、神奈川県立フラワーセンター大船植物
園に勤務。現在、県立相模原公園内「緑の相談所」相談員。



大倉山公園

横浜市港北区太尾町



上/梅まつりでにぎわう園内。下/公園入口付近。園内には遊歩道が設けられ、20分ほどで周遊できます。桜の景勝地としても知られています。



根岸森林公園

横浜市中区本牧根岸台



日本最初の洋式競馬場の跡地に造成された公園で、その一角に梅林があり、敷地内には馬の博物館が。



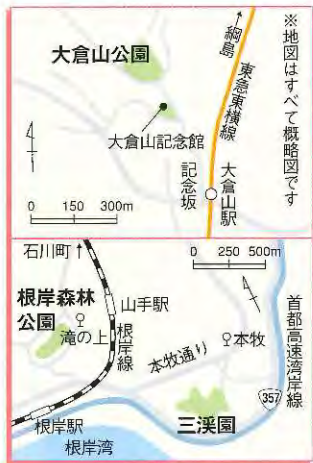
三溪園

横浜市中区本牧三之谷



上/竜が地を這うような枝ぶりの臥竜梅の古木。下/池の向こうに見えるのは三溪園のシンボルという旧燈明寺三重塔。塔周辺に梅林が。

※開花期 梅まつりの時期などは、各施設窓口にお問い合わせください。



※地図はすべて概略図です

◆問い合わせ先…財)三溪園保勝会
☎045(621)0634

◆JR根岸線根岸駅からバスで本牧下車、徒歩7分/開園時間内苑:9時~16時30分 外苑:9時~17時/入園有料/休園:12月29日~31日/駐車場有料

3 三溪園

◆JR根岸線根岸駅からバスで滝の上下車すぐ/入園自由 駐車場有料
◆問い合わせ先…横浜市中区公園緑地事務所
☎045(711)7802

2 根岸森林公園

◆問い合わせ先…横浜市北部公園緑地事務所
☎045(311)2016

1 大倉山公園

◆東急横線大倉山駅から徒歩約10分/入園自由/駐車場なし

横浜市の数ある名所の中でも最も雅趣がしゆに富んだ名園が三溪園。生糸貿易商・原三溪(本名富太郎)によって造られ明治三十九年に一般公開。自然の起伏そのままの広大な敷地の中に京都や鎌倉の歴史的建造物が移築され、四季の花々がたくみに配置されています。

梅林は庭園南側の外苑周辺にあり、開花期には、紅梅、白梅を中心に上海市から寄贈された緑萼梅りよくばいや臥竜梅がりゆうばいなど約六百本が咲き競います。

また、谷戸の自然を残して造られた大倉山公園と広大な芝生場のある根岸森林公園は、ピクニック気分が満喫できる梅の名所として親しまれています。

梅の種類

ウメの名の由来は、うむみ(熟実)が約転したという説と中国語音のメイが転訛したという説が有力。原産は中国とされ、奈良時代前期に渡来したとのこと。バラ科サクラ属の落葉低木で、花の色によっ

て白梅と紅梅に識別したり、目的によって実梅と花梅を区別したりしますが、園芸上は原種に近い野梅系と樹勢が強い豊後系、紅花が多い紅梅系の三系に分類され、現在約三百品種があるといわれます。



小高い山の頂上からは梅林の向こうに東京湾が見渡せます。すぐ下には京急本線が走り、電車窓越しに満開の梅の花が。

横須賀
五

田浦梅の里

横須賀市田浦大作町ほか



白梅が多い神奈川県梅林の中で、紅梅が目にも鮮やか。広い園内では梅見がてらハイキングやアスレチックが楽しめます。



川崎
四

生田緑地

川崎市多摩区生田

- ◆小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩約15分。／入園自由／駐車場有料
- ◆問い合わせ先：川崎市北部公園事務所 ☎044(933)2511



4 生田緑地

多摩丘陵の一角に位置する広大な自然公園。一七七ヘクタールの園内には全国各地の古民家を移築した日本家園や青少年科学館、岡本太郎美術館などがあります。梅林は緑地入口から散策路をゆつくりと歩いて十五分ほどのところにあり、二月中旬には紅梅を中心に五十種、約百十本が花を咲かせます。梅のほかには桜、ハナシユウプが有名です。

- ◆JR横須賀線田浦駅から徒歩約20分／入園自由／駐車場なし
- ◆問い合わせ先：横須賀市公園管理課 ☎0468(22)8333



5 田浦梅の里

昭和九年に天皇陛下のご生誕を記念して地元有志が約七百本の梅の木を植えたのが始まり。その後も植樹され、現在約二千七百本になり、三浦半島最大の梅の名所に。豊後、白加賀などの実梅は横須賀ブランドの「梅わいん」に使用され、市の特産品になっています。梅が開花する二月上旬にはスイセンも見頃で、あでやかに咲き競う姿が楽しめます。

右/2月下旬に開花する枝垂れ梅。
下/本堂前には市の天然記念物に指定されている珍しい黄梅の原木が。



梅の香りで幕を開ける鎌倉の春。中でも瑞泉寺の梅林は日本屈指と言われるほど。鎌倉時代の名僧夢窓疎石(国師)のために建てられたという禅寺で、境内全域が国の史跡に指定されています。白梅を中心に、地藏堂の脇の紅梅、山門近くに咲く枝垂れ梅、本堂前の黄梅などの名木がそろう、古寺の雰囲気と清雅な彩りを与えます。梅のほかにはスイセン、フクジュソウ、椿、ミツマタ、ジンチョウゲ

日本人と梅

かつては日本の花といえは梅でした。「万葉集」には桜の歌四十余首に対して、梅を詠んだ歌は百十余首挙げられています。当時は梅といえは白梅。平安時代になつて紅梅が好まれるようになりませんが、平

など春を告げる花が次々に開花します。

また、駆け込み寺縁切寺の通称で知られる東慶寺の梅林も有名。とくに境内・花苑に安置された露座仏を覆う梅の風情にひかれて多くの人が訪れます。

6 瑞泉寺

◆ JR横須賀線鎌倉駅からバスで大塔宮下車、徒歩12分/拝観・9時~17時(10~3月は16時30分まで)/拝観料・1000円/駐車場あり
◆ 問い合わせ先・瑞泉寺 ☎0467(22)1191



上/閑寂な古寺の雰囲気の中で梅見を楽しむ人たち。奥に露座仏の花苑が。梅の見頃が過ぎると、ハナモクレンが見事な花を咲かせます。下/山門から花苑へ。



7 東慶寺

◆ JR横須賀線北鎌倉駅から徒歩4分/拝観・8時30分~17時(12~3月は16時30分まで)/拝観料・1000円/駐車場なし
◆ 問い合わせ先・東慶寺 ☎0467(22)1663



徳富蘇峰記念館

二宮町二宮



上／蘇峰堂の書齋からの眺め。梅の開花を楽しみにしていたという蘇峰は、早春の好日には毎年訪れたそうです。右／交錯し、屈曲する枝の力強さに目が奪われます。



徳富蘇峰は明治二十年に民友社を設立し、雑誌「国民之友」や「国民新聞」を発行したジャーナリスト。作家・蘆花の兄。記念館は、蘇峰の晩年の秘書塩崎彦市によって氏の邸内の一角に建設されたもので、蘇峰が愛したという梅林には、樹齢三百年を越す臥竜梅の古木など約九十本が枝ぶりも見事に育ち、味わい深い風情を醸し出しています。

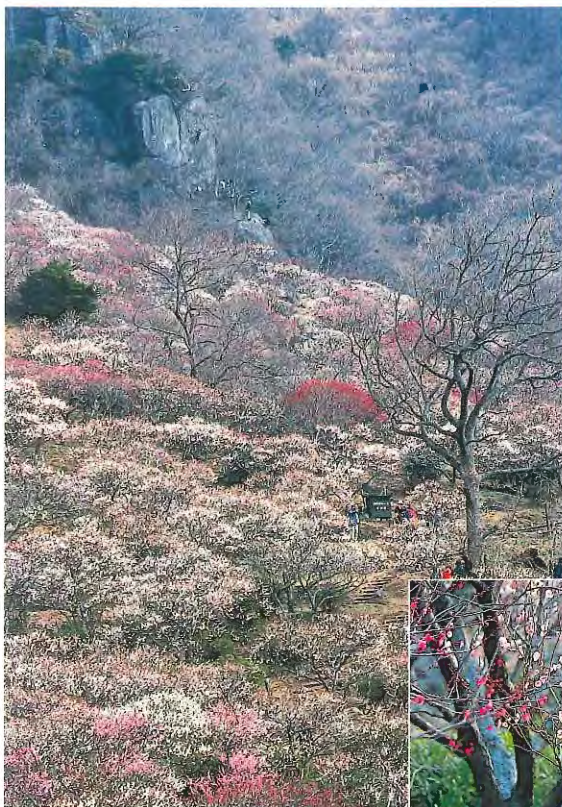
11 徳富蘇峰記念館

- ◆JR東海道線二宮駅から徒歩12分／開館：月、水、金曜日の10時～16時（観梅の時期は、土、日も開館。車での来館はご遠慮ください）／特別休館日：年末年始、8月第3・4週／入館有料
- ◆問い合わせ先：徳富蘇峰記念館財団 ☎0463(71)0266



幕山公園

湯河原町鍛冶屋・吉浜



高所から眺めると、パノラマのような花景色が広がり、山裾を歩くと、紅白の色模様の中に埋もれてしまいます。



幕山は標高六二五メートルの茅戸の山。ハイキングコースがあり、山腹の崖壁はロッククライマーの練習場として使われ、頂上からは見事な眺望が楽しめます。その幕山西麓の斜面一帯に梅林が広がっています。幕山を背景に三千本を超える白梅、紅梅が山麓を染めて、まるで和紙に絵具が滲んだような幻想的でダイナミックな景観が観られます。

12 幕山公園

- ◆JR東海道線湯河原駅から臨時バスで幕山公園下車（梅の期間中運行）、徒歩約20分／入園自由／駐車場有料
- ◆問い合わせ先：湯河原町観光課 ☎0465(63)2111
(社)湯河原温泉観光協会 ☎0465(64)1234



富士を眺めながら梅の里を散策する



梅林の散策コースには露店が出店し、自家製の梅干しや梅菓子などを販売。



上/皆、地図をたよりにマイペースで散策。左/瑞雲寺の境内の茶店。



宗我神社裏手の民家の庭に樹齢50年から60年の見事な牡丹梅が。



上/いたるところから富士の姿が現れます。なかでも瑞雲寺からの眺めは絶景。



毎年、梅まつりの期間中に開催される流鏝馬の行事。写真提供/小田原市観光課。



旧曾我郷六ヶ村の総鎮守だった宗我神社。



梅林歩きスタートは下曾我駅から始まります。まず、駅前の「梅の里センター」で地図をもらい、散策コースを確かめましょう。土産物屋でにぎわう駅前商店街を抜けると左手に中河原梅林が見え、梅林の枝のあいだに白富士が優美な姿を現します。

曾我の梅は十郎、杉田、白加賀などの実梅三品種が中心で、これらは梅干しの他にワイン、ジャム、梅菓子などに用いられます。本数約三万五千本。匂いの少ない白梅とはいえ、辺り一帯に甘い香りが漂っています。

ここから右手の坂を登ると瑞雲寺。境内の老梅を見ながら茶店で一休み。境内高台から富士を眺め、坂道を下って城前寺へ向かいます。

す。ここまで休憩を含めて約一時間。

さて、曾我といえば、仇討ちで知られる曾我兄弟ゆかりの地。菩提寺の城前寺には十郎五郎の供養塔が建てられています。地図のコースでは、南に下ると、別所梅林、原梅林があります。今回は、今回はちよつと寄り道して、宗我神社の裏手の民家の庭を訪ねました。曾我には珍しい牡丹梅が満開と聞いたからです。原種はフジボタンで五十年を超えするという鮮やかな紅梅で、これを見るために訪ねてくる人も多いとのこと。

曾我の梅林歩き楽しみは、富士の山容と春を告げる白梅のコントラストの妙、それに加えて、紅梅の美しさも見逃せません。

◆梅まつりは、2月1日から3月初めの日曜日まで開催。期間中、「流鏝馬一野を」「小田原ちようちん踊り」など、さまざまなイベントが行われます。

◆問い合わせ先は、11ページ。

梅の里かみお



神尾食品工業の副会長・神尾秀雄さん。

曾我の梅を使って、漬け込みから干しあげまで一貫して行っています。曾我の梅は肉質が軟らかく、果肉が多いのが特徴です。これを三日三晩の上用干しを繰り返して旨みを出す。ともかく旨味を出すには天日干しが一番。天日に優るものなしです。私は、毎日朝晩欠かさず梅干しを食べてきましたから、このとおり元氣。おかげで病氣知らずです。

(談)



工場屋上で約2000枚の干し板を並べて天日干し。炎天下での作業はたいへん。



塩度8%の白梅干を中心にしそ梅やしそヤリ梅などのオリジナル商品を揃えています。



神尾食品工業株式会社◆小田原市飯泉1-10-2
☎0465(47)7141 FAX 0465(48)5626

文六総本舗



文六総本舗社長の及川毅一郎さん

祖父文六の代から私で三代目です。のし梅は昔から茶席で重宝された銘菓です。ほのかな梅の香りと甘味が相まって、独特の風味を醸し出します。うちでは当地方特産の梅の実に蜂蜜を加えています。単純なだけに難しい和菓子ですので、我子を育てるようにいねいに作っています。

(談)



梅の実に蜂蜜を配合して甘味を出すのが決め手。「文六白梅」は最後に念入りに砂糖をまぶします。



上品で梅の香りがほのかな銘菓。日持ちがして、自然食品としても理想的とのこと。



株式会社文六総本舗◆湯河原町土肥4-10-6
☎0465(62)3330 FAX 0465(63)3700

梅干しの歴史と効用

梅は奈良時代前期に中国から渡来したと伝えられます。当時は漢方薬として黒焼きにした烏梅を熱冷ましや咳止めに用いました。奈良時代から梅の果実を食べる風習はあったようですが、記録のうえで梅干しが表れるのは平安時代。僧侶が酒の肴として作っていたといわれます。「塩梅」という言葉が表れるのもこの頃です。その後、梅干しは本格的に薬用から食用へと転用。鎌倉時代の武家の食卓に梅干しが添えられるようになり、兵糧(戦時食)として必需品とされました。梅干しは、唾液分泌を促し消化機能がよく、喉の渴きを止め、解毒作用を有す、等々の効用が見直され、多くの大名が領地に梅園

を作るようになります。そして、江戸時代になると梅干しづくりはますます盛んになり、どこの農家でも作られるようになります。梅干しに紫蘇を加えて赤くするようになったのは江戸の後期からといわれます。

小田原でも早雲をはじめ北条氏の時代に梅干しづくりが奨励されますが、本格的な生産が始まったのは文化文政期の大久保忠真の時代です。小田原地方の海岸には広い塩田があり、塩の供給が豊富なことが梅干しづくりを発展させました。この頃、東海道を行き来する旅人にとって弁当の腐敗を防ぐ梅干しは必需品。箱根、小田原では土産物としても売られ、しだいに全国に知られるようになります。

上右と左/パンづくりに励みながら、店長として店を支える西村さん。中上/「パンのことなら何でも知っている」という社長の塩田一善さん(右)と。中下/温かな雰囲気店舗。創業は昭和28年。下右/店舗のある旧東海道で、江戸時代には「サボテン茶屋」を営業。その記念碑が店舗脇に。下中と左/ドイツの街角とパリのパン屋の店頭。

生まれて初めての海外視察に興奮

平成十二年(財)はまぎん産業文化振興財団主催の商業従業者海外派遣団に参加して、ドイツ、ルクセンブルグ、フランスを視察してきました。

私は「エスプラン」というパンと洋菓子の店の店長を任されていますが、本来の仕事はパン職人ですから、一度は本場のパン屋を自分の目で見たいと思っていましたので、まさに願ったり適ったりでした。それも海外へ行くのは生まれて初めてです。社長に「勉強してこい」と言われたときは興奮しま

海外派遣団員が語る◎
伝統を守る姿勢といつも笑顔
を絶やさないう接待術に
感心しました。
横浜市鶴見区エスプラン洋菓子店西村雅弘さん

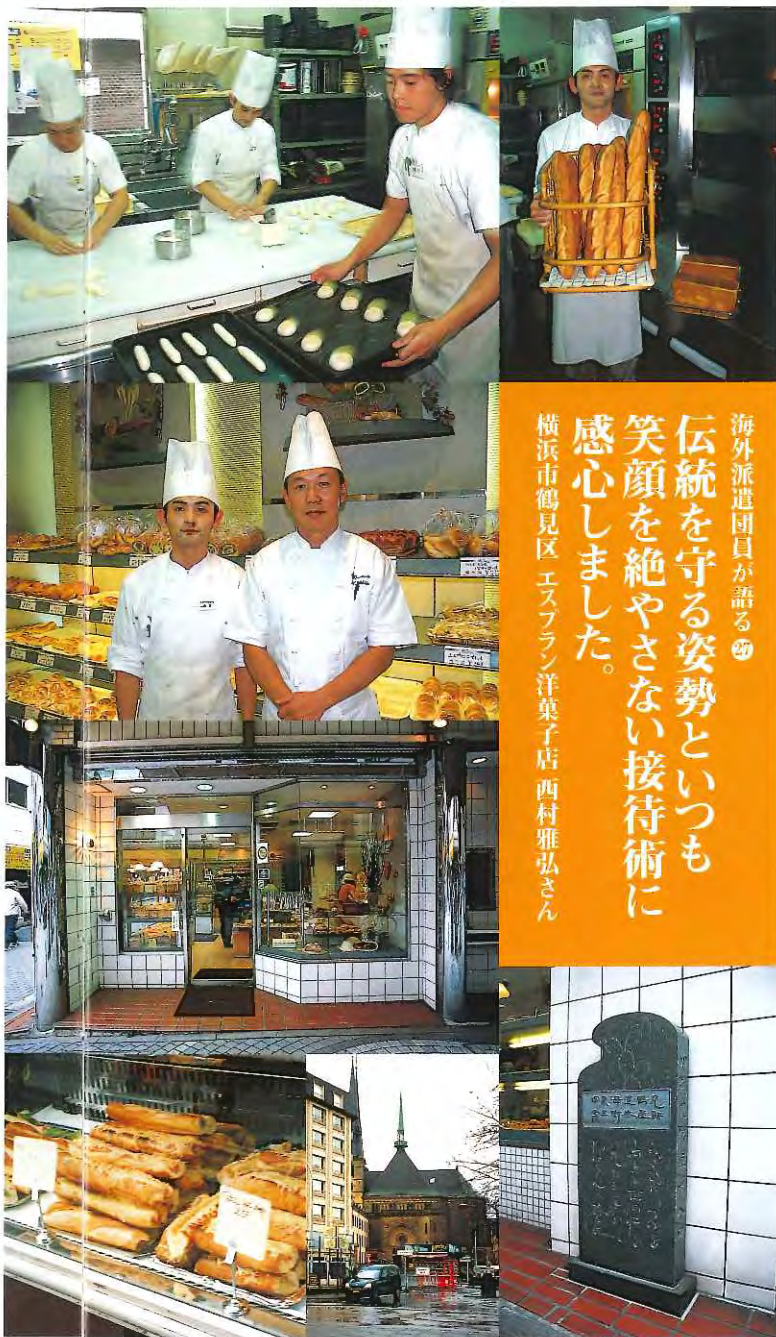
した。ちょうど店のディスプレイに頭を悩ませていたところでしたから、少しでも参考になればと思いました。しかし社長からは、「そんなに緊張していたら何も見えないぞ。気楽に行ってくればいいんだ」と言われて、少しほっとしましたね(笑い)。

日本のパン屋との違いに唖然

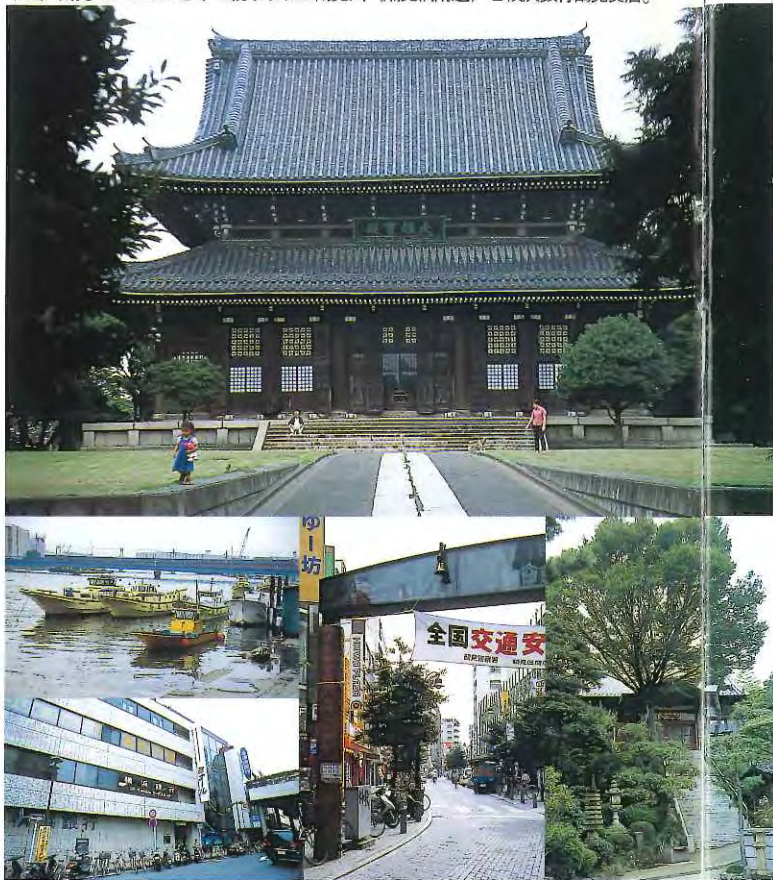
ヨーロッパで驚いたのは、町並みが美しいことです。雨に濡れた石畳や教会の佇まいなんて、まるで映画の世界(笑い)。パン屋は朝の六時半頃には開いていて、早くから焼きたてのパンを

買いにくるお客さんが並んでいるそうです。さすがパンが主食の国です。

私が視察したのはパリのボアラヌ(パン屋)です。わりあい小さな店でしたが、たいへん活気がありました。パンづくりを見学させてもらいましたが、日本と違うのは、昔ながらの石窯で焼いていることです。それに生地を成形するのにめん棒ひとつ使わない。伝統的な手づくりの製法をそのまま守っています。パンの種類も五種類、食事パンしか置いていません。唖然としましたね。それで商売として成り立っているんですから羨ましいですね。う



上/鶴見は神社仏閣の多い町。中でも有名なのが曹洞宗の総本山・総持寺。寺域50万平方メートルに約50棟の堂宇が建ち、周囲には森林が。国際的な禅の根本道場としても知られています。下右/天台宗の古刹・天王院。下中/京急鶴見駅前の商店街(旧東海道)。下左/鶴見のシンボルとして親しまれる鶴見川(潮見橋附近)と横浜銀行鶴見支店。



ちなみに、百二十種類くらいは置いてます。少し多すぎると思っています。お客さんの好みも多様化していますからね。アイテム数が多いと、パン屋としてはそれだけ手間がかかるし、無駄も多くなりますが、そういう無駄を出さないという姿勢がヨーロッパのパン屋は徹底しているようです。

今、社長からは、「お客さんの気持ちや、社長からしてもつかむように、もっと積極的にしゃべりなさい」と言われています。日頃から「自分がしてもらってうれしいサービスを、お客さんにもするよう」に」というのが社長の方針なんです。私にとってはそれが一番難しいことでした。人とうまくしゃべるのが苦手ですし、自分はパン職人なのに、そんな私ですから、海外派遣団に参

お客さんと素直に接すること

帰ってきて三年近く経ちましたが、時間が経つにつれて、視察旅行で経験

加したときは、皆と一緒に楽しくやれるかどうか心配でしたが、皆さん明

るくて、いい人たちがばかり。職種が違う人たちがどっくばらんに話ができたのも初めての経験でした。また、視察で訪れた店の人たちも、皆フランクで笑顔を絶やさず。小さな店ほどそうでした。けっして無理してそうしているわけではないんですね。

自分が作ったパンを食べていただくわけですから、もっと素直にいろんなことを聞いてもいいんですね。お客さんの気持ちが分からないと、パンづくりだって独りよがりになる。そのことがようやく分かってきました。(談)



※ 西村雅弘(にしむら・まさひろ) ● 昭和48年滋賀県生まれ。大阪の専門学校でパン製造を学び、卒業後伊丹市のホテルに就職。平成9年、(有)エスプラン洋菓子店に入社し、現在店長として勤務。

ホール

〈はまぎんホール ヴィアマールからのお知らせ〉
 新春はまぎん寄席

林家こん平独演会

毎年恒例となりました新春はまぎん寄席では、「笑点をはじめ、TVドラマや映画などに幅広く出演し、最近では、「世界ベテラン卓球選手権大会」に出場するなど、卓球選手としても大活躍の林家こん平師匠をお迎えます。

日時●平成15年1月18日(土)

18時30分開演(開場18時)

チケット●2,500円(全席自由/税込)

チケット取扱いブレイガイド

●横浜高島屋6階チケットショップ

●相鉄ジョイナスブレイガイド

●サウンドポート

●チケットぴあ

☎045(311)5111

☎045(319)2456

☎045(243)9999

☎03(5237)9999



ホール全景
 舞台形式から平土間形式まで、
 幅広くご利用いただけます。

●はまぎんホール ヴィアマール

横浜市西区みなとみらい3-1-1 (横浜銀行本店1階)

電話●045(225)2173

交通●桜木町駅(J線・東急東横線・横浜市営地下鉄線)

下車「動く歩道利用」5分

http://www.yokohama-viamare.or.jp/

※「マイウェイ」への「意見・ご要望」は

info@yokohama-viamare.or.jpまで

お気軽にお寄せください。

〈はまぎん〉からのお知らせ

「年金」電話相談サービス(無料)のご案内

年金制度や年金請求の手続き方法など、

年金に関する疑問に何でもお答えいたします。

お気軽にお電話でご相談ください。

土・日曜日にも受け付けております。

なお、毎週二回実施している

「年金教室」のお申し込みも承ります。

また、年金に関連した雇用保険制度、

健康保険制度についてのご相談もお受けできます。

●〈はまぎん〉年金デスク ☎01220(334)089

●相談受付日

毎日。(ただし、祝日、12月31日～1月3日、

5月3日～5日は休業させていただきます)

●相談受付時間 9時～17時

編集後記

梅は、古くに中国より渡来してきたと伝えられております。歌に詠まれ、観梅にも代表されますように、私たち日本人に最も愛され、親しまれている花木の一つといえるでしょう。美しい物や良い物が並んでいる様子を「梅と桜」に例えた諺があります。私たちが梅に託する思いが窺い知れるものではないでしょうか。

皆様方もご承知のとおり、梅には「観る」「詠む」「食する」「香る」等々、さまざまな楽しみ方があります。今回はそれらのうち、「観る楽しみ」を中心に取り上げることにいたしました。

梅の名所は県内各地にあります。そのうち十二ヶ所をご紹介しますこととし、一足早い梅便り(本年早々に撮影・取材したもの)を、お届けさせていただきます。

また、梅の実は今今の健康食ブームの中でひとときわその効能の高さが注目される中で、県の名産品の梅干しと梅菓子をご紹介いたしました。寒さも厳しくなる折、この小冊子を通して早春の息吹を感じていただければ幸いです。最後になりましたが、取材にご協力いただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

財団法人はまぎん産業文化振興財団
 事務局長 清水昭雄